



ねぶた

障がい児サポート 根っこの広場だより ～こぶし・かりん～

令和6年5月1日発行 No.2



令和6年度がスタートして、新しく8人が仲間入りしました。あっという間にこぶしの家、かりんの家での生活に慣れたようです。みんな一学年ずつ大きくなり、表情もきりっと頼もしく見えます。今年度はこぶしの家が開所して10年を迎えた節目です。何か特別感がある令和6年度、今年もまたみんなとたくさん笑いたいと思います。



5月予定

- 20日 (月) 東備運動会振替休校 (一日開所)
- 21日 (火) 避難訓練

おしらせ

- 5月20日(月)東備支援学校、学校休業日になります。
- ご利用予定の方は朝から利用できます。

6月予定

- 避難訓練
- 希望者懇談(家族支援加算(Ⅰ))

家族支援加算(Ⅰ)では、お子さんに関するの困りごとなど、一緒に考えます。(月一回30分程度、家族支援加算(Ⅰ)100単位(自己負担100円))が発生します。

私の○○

「私の初めて！」

所庭のレッドロビンが勢いよく茂り始めたので、剪定することになりました。自宅に来てくれる植木屋さんや、環境整備の日に保護者の方々が、使っている生垣バリカンにひそかに憧れていた私。

生まれて初めて生垣バリカンを使ってみました。「ウィーン、バリバリ」と枝を切ると何ともいえぬ爽快感。ストレス解消にもなりそうです。ぜひやってみてください。

こぶしの家 堀 玲子



今月のエピソード

こぶしの家、かりんの家こいのぼりをつけました。

こいのぼりの姿を見た一人の男の子が嬉しそうな表情で職員の所に来て「こいのぼりをつけてくれてありがとう」と職員に伝えてくれました。その言葉を聞き、職員は「つけてよかった」という思いと「喜んでくれてありがとう」と嬉しい気持ちになりました。



かがやき

「かがやき」は
こぶしの家での様子を発信します。

できたよ！



「どろだんごつくりた〜い」というこどもの発言から、どろだんごづくりをすることになりました。こちらから全部伝えたり用意したりするのではなく「どうやってするの?」「教えて」などと言うと「水がいるな」「バケツに入れて運ぶ」など、自分たちで用意を進めていきます。形が崩れる職員をよそ目に「小さいときはもっと上手に作れたのにやり方忘れたわ」と言いながらとても上手に丸く作っていました。砂場で黙々と集中している真剣な表情は輝いていました。

つながり

「つながり」は
かりんの家での様子を発信します。

上の学年が活動や掃除の
見本となっています。



かりんの家では、様々な学年や学校のこどもたちが一緒に生活しています。上の学年の子の姿を見て、下の学年の子が憧れを持ったり、一緒に遊びたい友だちに「いっしょにあそぼう」と声をかけたりする姿があります。